

政策4 「誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」は、障害者や高齢者、妊婦や子どもをはじめ、だれもが不便を感じることなく安心して生活できる環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策4の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は39.6%、低認知度群は60.5%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性(42.8%)が女性(36.1%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(48.1%)が65歳未満(36.3%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域(46.5%)が、回答者全体と比較して6.9ポイント高い。

石巻圏域(34.2%)が、回答者全体と比較して5.4ポイント低い。

(%)

政策4 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.2	36.4	39.6	49.7	10.8	60.5	100.0

性別	男性	2.9	39.9	42.8	46.1	11.1	57.2	100.0
	女性	3.1	33.0	36.1	53.4	10.5	63.9	100.0
年齢別	65歳未満	2.5	33.8	36.3	51.9	11.8	63.7	100.0
	65歳以上	4.5	43.6	48.1	44.1	7.7	51.8	100.0

圏域別	仙台	1.9	41.9	43.8	45.1	11.2	56.3	100.0
	仙南	3.0	33.5	36.5	53.0	10.4	63.4	100.0
	大崎	4.4	42.1	46.5	42.5	11.0	53.5	100.0
	栗原	2.7	37.0	39.7	46.7	13.6	60.3	100.0
	登米	3.3	35.4	38.7	50.0	11.3	61.3	100.0
	石巻	4.3	29.9	34.2	56.5	9.2	65.7	100.0
	気山沼・本吉	1.6	34.4	36.0	55.3	8.6	63.9	100.0

有効回答者数 1,614名

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は54.8%、低認知度群は45.2%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(85.7%)が30.9ポイント、登米圏域(63.6%)が8.8ポイント高い。

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域(47.4%)が7.4ポイント、仙南圏域(49.1%)が5.7ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は66.1%、低認知度群は33.9%である。

(%)

政策4 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	4.0	50.8	54.8	40.0	5.2	45.2	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	53.4	57.7	35.3	6.9	42.2	100.0
	仙南	3.8	45.3	49.1	47.2	3.8	51.0	100.0
	大崎	6.9	47.2	54.1	41.7	4.2	45.9	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	0.0	63.6	63.6	36.4	0.0	36.4	100.0
	石巻	4.3	47.8	52.1	39.1	8.7	47.8	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	47.4	47.4	47.4	5.3	52.7	100.0

有効回答者数 325 名

学識者等全体	9.2	56.9	66.1	30.8	3.1	33.9	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

2. 政策4の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は87.4%、低関心度群は12.6%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(90.5%)が男性(84.2%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(92.2%)が65歳未満(85.9%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策4 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	32.1	55.3	87.4	11.2	1.4	12.6	100.0

性別	男性	27.9	56.3	84.2	13.8	2.1	15.9	100.0
	女性	35.1	55.4	90.5	8.8	0.7	9.5	100.0
年齢別	65歳未満	25.5	60.4	85.9	12.8	1.3	14.1	100.0
	65歳以上	49.4	42.8	92.2	6.4	1.4	7.8	100.0

圏域別	仙台	34.6	56.2	90.8	8.8	0.5	9.3	100.0
	仙南	29.7	60.6	90.3	8.1	1.7	9.8	100.0
	大崎	31.8	55.1	86.9	11.9	1.3	13.2	100.0
	栗原	33.6	53.6	87.2	10.6	2.3	12.9	100.0
	登米	32.9	50.9	83.8	14.9	1.4	16.3	100.0
	石巻	26.2	58.8	85.0	13.9	1.1	15.0	100.0
	気山沼・本吉	31.2	56.4	87.6	11.2	1.2	12.4	100.0

有効回答者数 1,659 名

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は79.4%、低関心度群は20.6%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)では20.6ポイント、大崎圏域(86.5%)
では7.1ポイント高い。

石巻圏域(69.5%)では、回答者全体と比較して9.9ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は91.0%、低関心度群は9.0%である。

(%)

政策4 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があつた	ある程度関心があつた		あまり関心 がなかつた	関心 がなかつた			
市町村職員全体	17.6	61.8	79.4	18.8	1.8	20.6	100.0	
圏 域 別	仙台	14.5	63.2	77.7	18.8	3.4	22.2	100.0
	仙南	30.9	45.5	76.4	21.8	1.8	23.6	100.0
	大崎	23.0	63.5	86.5	13.5	0.0	13.5	100.0
	栗原	14.3	85.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	9.1	72.7	81.8	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	13.0	56.5	69.5	30.4	0.0	30.4	100.0
	気山沼・本吉	5.3	71.1	76.4	21.1	2.6	23.7	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	35.8	55.2	91.0	9.0	0.0	9.0	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策4の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は30.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より47.6%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は70.0点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は55.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は15.0点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より38.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は55.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は25.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より43.4%と推定できる。

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.9	(89.1)
満足度 60点未満の割合		58.5
要検討領域にある回答者全体の割合		47.6

有効回答者数；重視度 1,657人、満足度 1,636人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	1657	1636
	欠損値	64	85
平均値		75.39	52.10
平均値の標準誤差		.383	.411
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.581	16.644
分散		242.755	277.013
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.8	(86.2)
満足度 60点未満の割合		52.3
要検討領域にある回答者全体の割合		38.5

有効回答者数；重視度 334人、満足度 329人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	334	329
	欠損値	4	9
平均値		71.03	54.24
平均値の標準誤差		.832	.868
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		15.213	15.750
分散		231.437	248.049
範囲		95	95
最小値		5	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	83.8	65.0	18.8

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	8.8	(91.2)
満足度 60点未満の割合		52.2
要検討領域にある回答者全体の割合		43.4

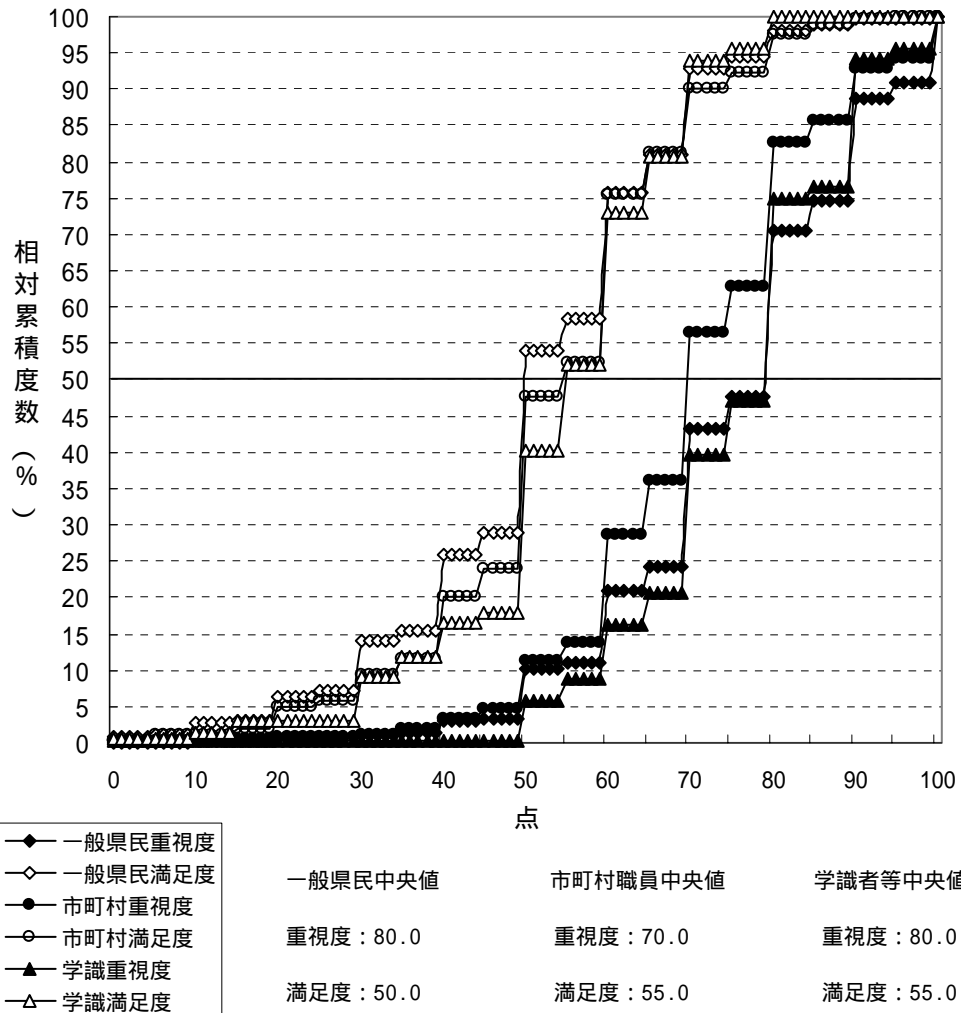
有効回答者数；重視度 68人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	68	67
	欠損値	1	2
平均値		76.03	54.93
平均値の標準誤差		1.520	1.729
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		12.535	14.155
分散		157.133	200.373
範囲		50	70
最小値		50	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	73.00	51.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	83.75	65.00

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」

「政策4 誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性（80.0点）が男性（75.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、女性（52.5点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、女性（27.5点）が男性（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性（10.0点）が女性（7.5点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性48.8%、女性46.2%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

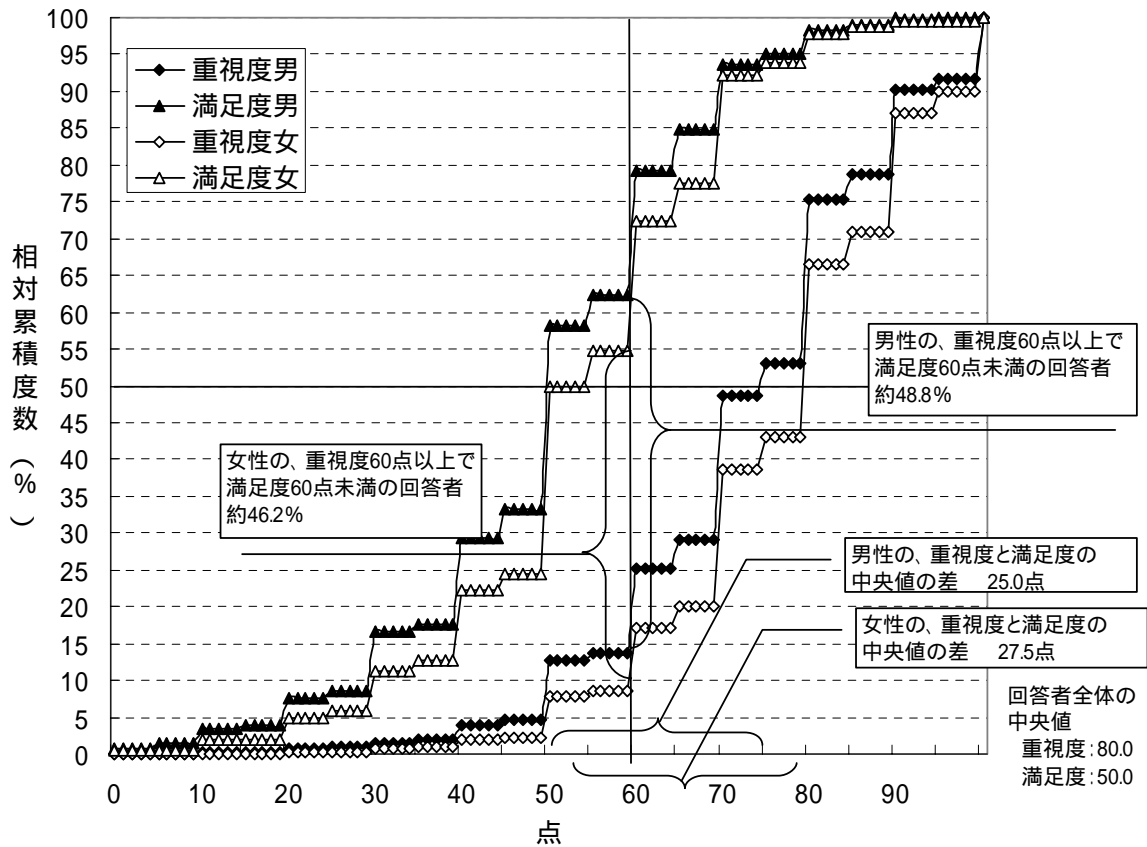
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	75.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	52.5
	かい離	30.0	25.0	27.5
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	60.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.6 (86.4)	8.5 (91.5)
満足度 60点未満の割合	62.4	54.7
要検討領域にある回答者全体の割合	48.8	46.2

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	777	769
	欠損値	26	34
平均値		73.35	50.32
平均値の標準誤差		.579	.609
中央値		75.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.142	16.896
分散		260.567	285.478
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	861	848
	欠損値	35	48
平均値		77.19	53.87
平均値の標準誤差		.504	.555
中央値		80.00	52.50
最頻値		80	50
標準偏差		14.803	16.157
分散		219.126	261.038
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	52.50
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65歳年齢区別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満(50.0点)が65歳以上(55.0点)よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満(30.0点)が65歳以上(25.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満48.6%、65歳以上44.1%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

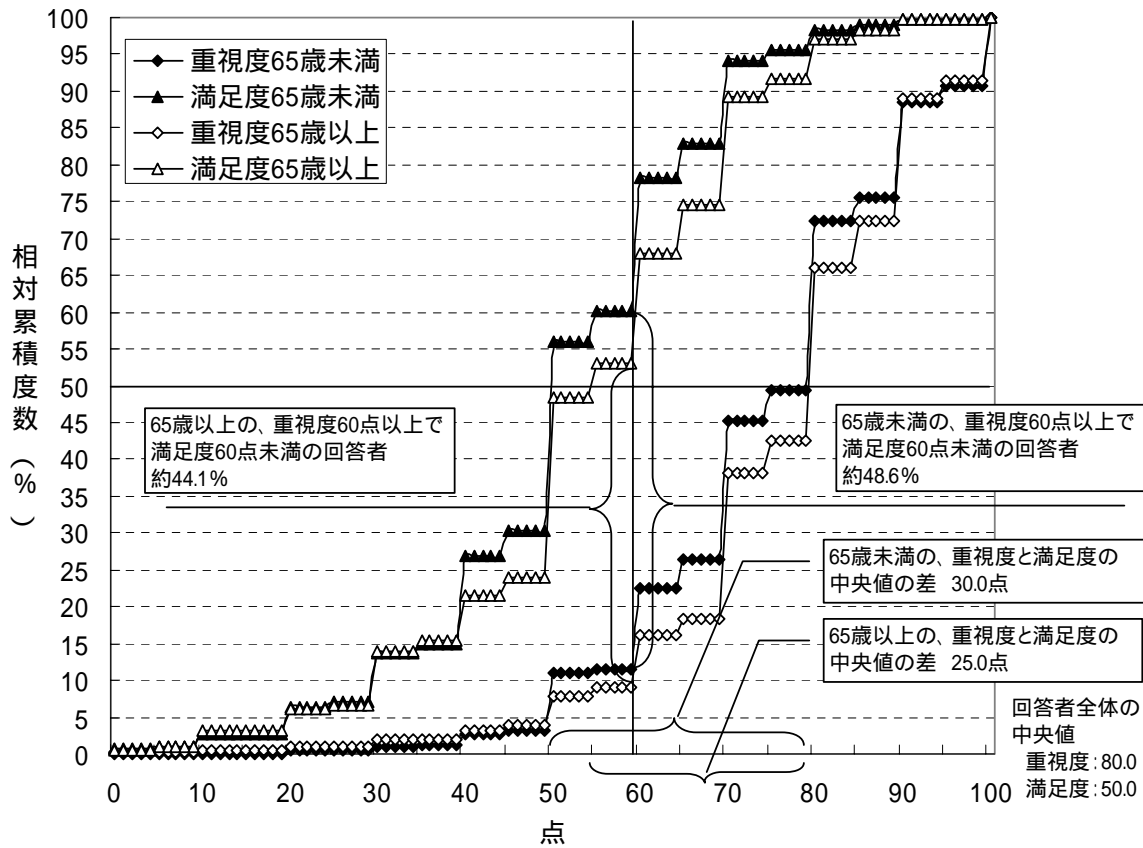
		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	25.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	85.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	70.0
	かい離	30.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	11.6 (88.4)	9.0 (91.)
満足度60点未満の割合	60.2	53.1
要検討領域にある回答者全体の割合	48.6	44.1

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	1213	1197
	欠損値	27	43
平均値		74.87	51.47
平均値の標準誤差		.447	.469
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.572	16.225
分散		242.496	263.263
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	85.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	423	418
	欠損値	34	39
平均値		76.76	54.23
平均値の標準誤差		.752	.857
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.456	17.520
分散		238.893	306.966
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(75.0点)が回答者全体(80.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(10.6点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、気仙沼・本吉圏域(7.5点)、登米圏域(6.3点)の2圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(7.5点)が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、石巻圏域(65.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、仙台圏域(60.0点)、大崎圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の3圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)、栗原圏域(50.0点)、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の4圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域(8.8点)、登米圏域(8.8点)、石巻圏域(7.5点)の3圏域が回答者全体(10.0点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)、石巻圏域(10.0点)、大崎圏域(9.4点)、登米圏域(8.1点)、仙台圏域(7.5点)、仙南圏域(7.5点)、気仙沼・本吉圏域(6.9点)の7圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	75.0	77.5	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	30.0	25.0	27.5	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	68.8	65.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	50.0	40.0	45.0	45.0	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	30.0	23.8	20.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	81.3	86.3	80.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	70.0	60.0	60.0	65.0	60.0
	かい離	30.0	25.0	30.0	20.0	30.0	21.3	21.3	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	6.3	10.6	7.5
	満足度	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	55.0	60.0	50.0	60.0	50.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	15.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	62.5	60.0	60.0	65.0	61.3	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	30.0	47.5	40.0	46.3
	かい離	10.0	12.5	15.0	10.0	35.0	13.8	20.0	13.8
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	78.8	75.0	80.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	68.8	60.0	63.8	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	11.3	25.0	15.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	8.8	10.0	10.0	10.0	8.8	7.5	10.0
	満足度	5.0	7.5	7.5	9.4	15.0	8.1	10.0	6.9

4. 政策4各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」(65.5%)である。

第2位は施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」(12.6%)である。

第3位は施策5「バリアフリー等を進める専門家,NPO,ボランティアの育成」(9.7%)である。

市町村職員では、

第1位は施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」(62.2%)である。

第2位は施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」(14.7%)である。

第3位は施策5「バリアフリー等を進める専門家,NPO,ボランティアの育成」(10.8%)である。

学識者では、

第1位は施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」(61.8%)である。

第2位は施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」(20.6%)である。

第3位は施策5「バリアフリー等を進める専門家,NPO,ボランティアの育成」(10.3%)である。

性別

一般県民では、

性別では、第1位から第2位まで、回答者全体と同じである。

第3位は、男性では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」、女性では施策5「バリアフリー等を進める専門家,NPO,ボランティアの育成」である。

65歳年齢区分別

一般県民では、

65歳年齢区分毎の各施策の優先度は、65歳未満65歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第1位は、全圏域とも施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」である。

第2位は、仙台、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の6圏域では施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」、仙南圏域では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」である。

第3位は、仙台、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の5圏域では施策5「バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成」、仙南圏域では施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」、大崎圏域では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」である。

市町村職員では、

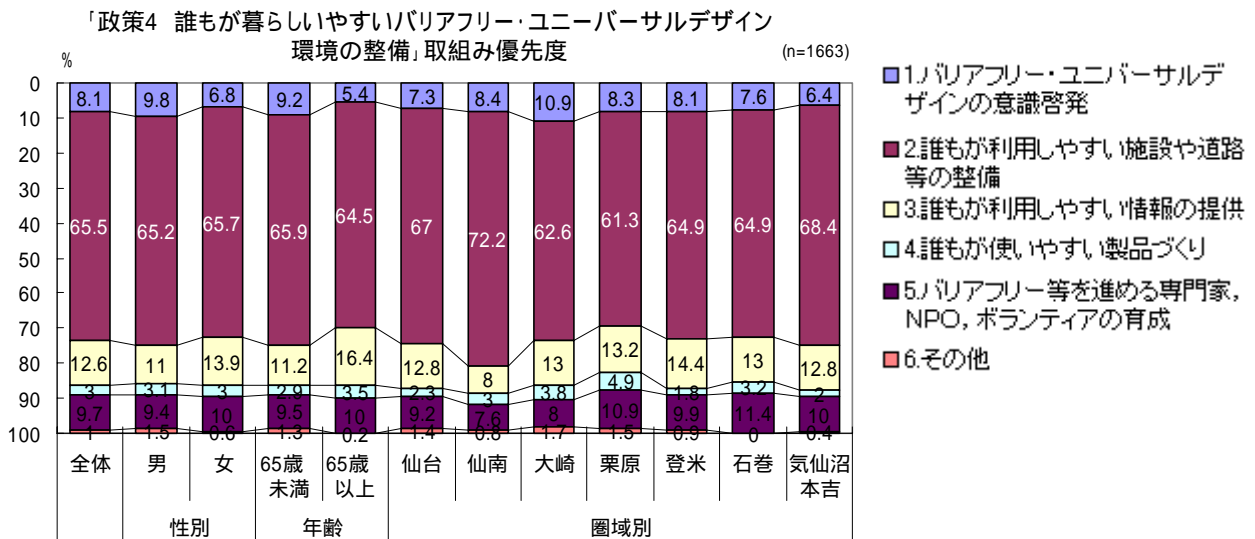
第1位は、全圏域とも施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」である。

第2位は、仙台、仙南、大崎、栗原の4圏域では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」、石巻、気仙沼・本吉の2圏域では施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」、登米圏域では施策5「バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成」である。

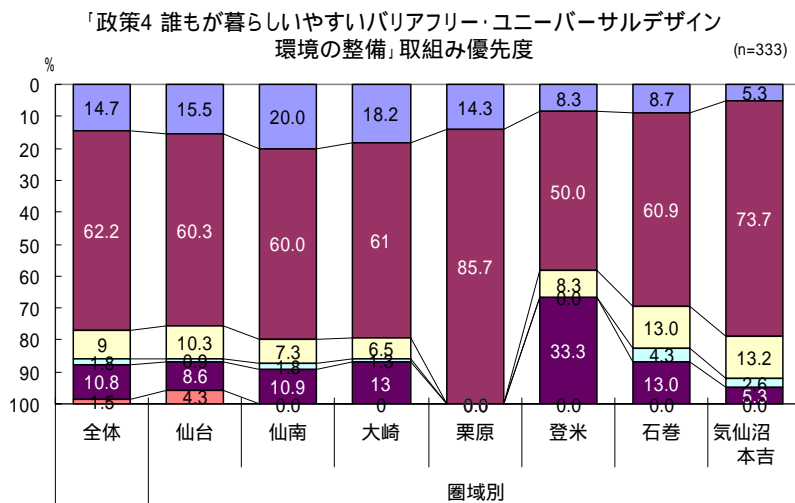
第3位は、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の4圏域では施策5「バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成」、仙台、栗原、登米の3圏域では施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」、登米、気仙沼・本吉の2圏域では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」である（登米圏域では施策1と施策3が、気仙沼・本吉圏域では施策1と施策5が共に第3位になっている）。

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」

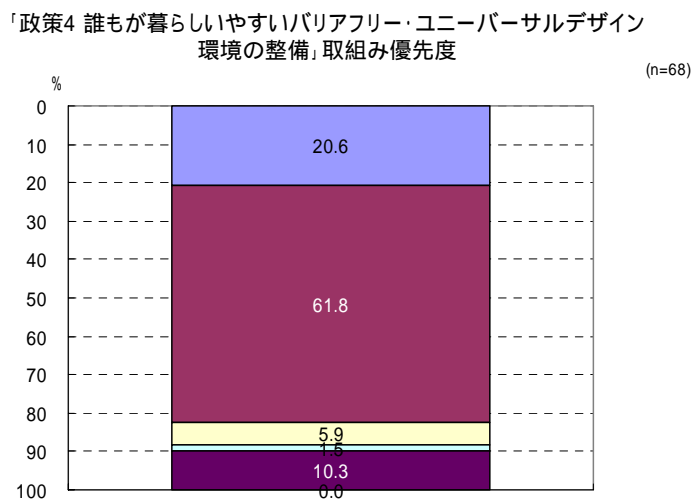
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発	8.1	9.8	6.8	9.2	5.4	7.3	8.4	10.9	8.3	8.1	7.6	6.4
2	2.誰もが利用しやすい施設や道路等の整備	65.5	65.2	65.7	65.9	64.5	67.0	72.2	62.6	61.3	64.9	64.9	68.4
3	3.誰もが利用しやすい情報の提供	12.6	11.0	13.9	11.2	16.4	12.8	8.0	13.0	13.2	14.4	13.0	12.8
4	4.誰もが使いやすい製品づくり	3.0	3.1	3.0	2.9	3.5	2.3	3.0	3.8	4.9	1.8	3.2	2.0
5	5.バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成	9.7	9.4	10.0	9.5	10.0	9.2	7.6	8.0	10.9	9.9	11.4	10.0
6	6.その他	1.0	1.5	0.6	1.3	0.2	1.4	0.8	1.7	1.5	0.9	0.0	0.4

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発	14.7	15.5	20.0	18.2	14.3	8.3	8.7	5.3
2	2.誰もが利用しやすい施設や道路等の整備	62.2	60.3	60.0	61.0	85.7	50.0	60.9	73.7
3	3.誰もが利用しやすい情報の提供	9.0	10.3	7.3	6.5	0.0	8.3	13.0	13.2
4	4.誰もが使いやすい製品づくり	1.8	0.9	1.8	1.3	0.0	0.0	4.3	2.6
5	5.バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成	10.8	8.6	10.9	13.0	0.0	33.3	13.0	5.3
6	6.その他	1.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発	20.6
2	2.誰もが利用しやすい施設や道路等の整備	61.8
3	3.誰もが利用しやすい情報の提供	5.9
4	4.誰もが使いやすい製品づくり	1.5
5	5.バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成	10.3
6	6.その他	0.0

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」